

福井高専におけるフリーソフトを用いた学外貢献活動報告

福井工業高等専門学校教育研究支援センター

○小木曾晴信, 内藤岳史, 堀井直宏

ogiso@fukui-nct.ac.jp

1. はじめに

福井工業高等専門学校教育研究支援センターでは、技術職員が主体となり地域貢献活動の一環として年に2回の公開講座を開催している。公開講座とは別に、本年度は技術職員の有志によって結成された「福井高専教育研究支援センター科学楽しみ隊」として、国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受けて地域貢献活動を行った。子どもゆめ基金の活動として7月に「コンピューターでアニメを作ろう！」を実施、公開講座として11月に「親子で作るはじめてのオリジナル写真年賀状」を実施した。どちらもフリーグラフィックソフトのGIMPを使用した講座内容である。

2. 「コンピューターでアニメを作ろう！」の実施

募集方法：小学校にチラシを配布し、ケーブルテレビへの出演も併せて行った。7月上旬に福井高専のある福井県鯖江市内の小学3～6年生を対象に定員15名で募集を行い、予定よりも5名多くの、子供20名+同伴者により、7月27日(土)に開催した。

当日の進行：GIMPの使い方を分かりやすくまとめたテキストを配布し、スクリーンと同時進行で行った。パラパラまんがの仕組みで静止画を重ね合わせてアニメを作る手法を用いた。その際必要となるのが「レイヤー」の仕組みであるが、その点を理解するのに戸惑っていた子供が多く見られた。最後にスクリーンで完成した作品の発表会を行った。制作した作品はUSBメモリーに保存し、GIMPのソフトと解説書をセットでお持ち帰り頂いた。



図-1 募集チラシ

アンケート集計結果 (一部抜粋)

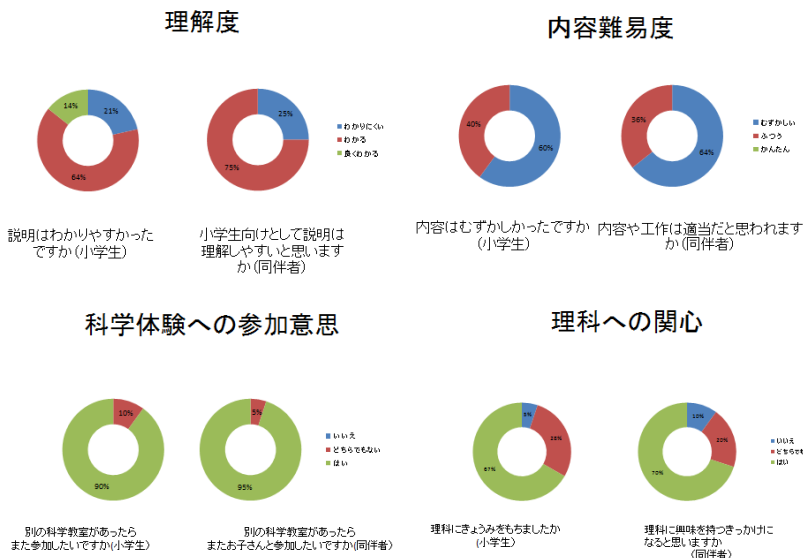


図-2 テレビ出演の様子



図-3 アニメ制作の様子

3. 「親子で作るはじめてのオリジナル写真年賀状」の実施

募集方法：福井高専の公開講座としての開催のため、チラシ配布などは行わず、主に福井高専のホームページに募集要項を掲載し、小中学生を対象に定員 15 名で募集を行った。子供 9 名+同伴者により、11 月 10 日(日)に開催した。

当日の進行：GIMP の使い方を分かりやすくまとめたテキストを配布し、スクリーンと同時進行で行った。本講座はアニメ作りのような複雑なレイヤー機能を使用する必要がないため、低学年主体の講座にも関わらず子供達の理解も早く、予定時間よりも早く全員が作業を終えることができた。制作した年賀状は今年の年賀状として使用するため、子供だけでなく同伴者の方々も真剣に作業を行っていた。制作した作品は USB メモリーに保存し、GIMP のソフトと解説書をセットでお持ち帰り頂いた。



図-4 年賀状制作の様子

アンケート集計結果（一部抜粋）

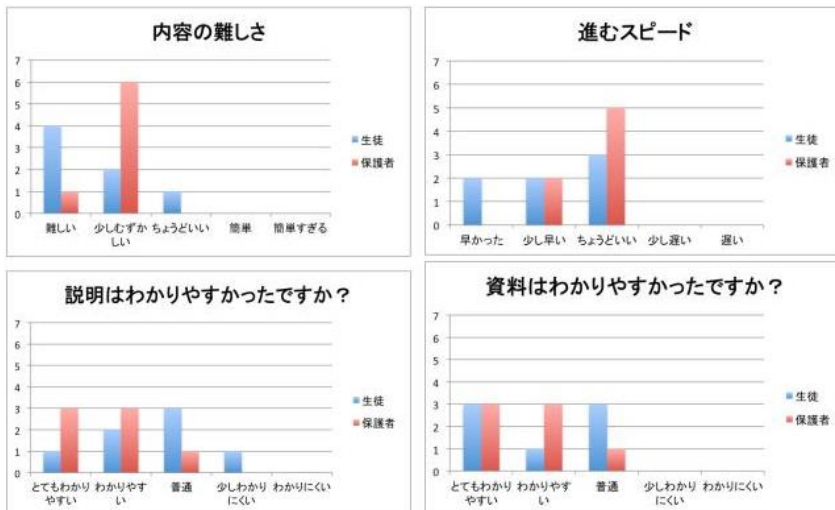


図-5 完成した年賀状

4. さいごに

「コンピューターでアニメを作ろう！」の講座は、チラシとテレビ出演の効果により、募集から4日で定員に達し、予定よりも5名多くでの開催であった。GIMP を用いたパラパラまんが制作は今年が初の試みであり、レイヤーなどの複雑な機能を使用するため、アンケート結果からも小学生には少し難しい内容の講座であった。講師陣も予想外の質問にテキストを見て調べるといった場面もあり、こちら側としても相当な準備が必要だと考えさせられた。子供達の頭の中で描くイメージをパソコンを使って実際に表現することへの難しさから、途中で集中力を欠く子供もいたが、講師陣のアドバイスにより皆作品を完成させられることができ、概ね満足して頂いた。

「親子で作るはじめてのオリジナル写真年賀状」の講座は、一昨年からの継続開催となり、GIMP の複雑な機能を使用することなく作業を進めることができるため、低学年主体ではあったが、皆思い通りの作品を仕上げることができた。講師陣も年賀状作りに関してはこれまでのノウハウがあるため、想定される質問にも答えられる状況であった。

両講座とも、フリーソフトを用いているため、講座の続きや発展作業を自宅でもできるというメリットを有している。講師陣の連絡先を記載した GIMP 操作解説書をお持ち帰り頂いたため、疑問点などは直接講師陣に連絡を頂けるようなアフターケアも行った。今後の課題は、講師陣の GIMP への習熟と、子供達が科学に対して興味を持って頂けるような講座のさらなる充実を図っていきたい。